

平成29年2月3日

第3回 八尾翠翔高等学校 学校協議会（報告）

委員（6名）の参加をいただき、本校教職員（4名）が同席し協議を行った。

主な質疑等については、以下の通りである。

① 第2回授業アンケートの結果より

第2回授業アンケートの結果について校長より説明した。昨年度よりも平均スコアが上がってはいるものの、授業に関する生徒の意見の中には、内容や進め方についての満足度が、やや伸び悩みの面も見られる。現在行っている教員相互の授業見学の中で、各自が授業改善のヒントを見出す努力が必要である。

② 学校教育自己診断の結果より

生徒・保護者・教員向けに実施した、今年度の「学校教育自己診断アンケート」の結果について、首席から説明した。内容は以下である。保護者や生徒は、本校の特色である「進路実現指導」「モラル・マナー指導」について高く評価しているが、授業や行事などは改善を求める声もあり、課題として捉えたい。一方、家庭学習での時間確保がやや向上し、進路や職業への適切な指導などは高く評価をしている。

【意見・提言】

- ・授業はやはり教科書を中心に指導するべきだ。模範解答に沿って反復練習したり、言葉で論述する力を身に付けることが大切である。
- ・1時間の授業の中で、教員が目標をはっきりさせ、生徒には振り返りをきっちりさせることが重要である。
- ・「授業の進度が速い」と答えている生徒がいるようだが、その原因は何かを探る必要がある。その一つとして、家庭学習の時間をとらせる習慣付けが必要である。
- ・授業は厳しくして、しかも分かり易いのが理想である。
- ・昨今の進路指導などは、入試制度等日々変化するので難しいと思う。
- ・オーストラリアの高校生が昨年秋に来校し生徒たちと交流したり、英語弁論大会に入賞するなど、活発に英語学習に取り組んでいるようだ。生徒がリラックスして気軽に話せる機会を今後も提供してほしい。
- ・生徒と保護者、保護者と教員間のコミュニケーションの取り方に工夫が必要である。